

第2期行財政改革プログラム 個別取組工程表

所管	建設	局	公園緑地	部	公園監理	課
項目	2-17	公園の魅力高める管理運営の推進				
実施内容	【管理運営への市民参画の推進】 公園愛護活動に対する技術指導、物的支援、人材育成等の取り組みを一層充実し、身近な公園において、公園愛護会の活力を活かした管理運営を推進する。					
目標	市民主体で維持管理に取り組む公園（行政が除草、清掃を行わない公園）を増加 平成24年度 472公園 → 平成29年度 512公園 (平成28年度追記)					
工程	当初予定	26年度	27年度	28年度	29年度	市民主体で維持管理に取り組む公園を増加させる
		管理運営への市民参画の促進				
	進捗状況 (実績・見込)	26年度	27年度	28年度	29年度	管理運営への市民参画の促進
		26年度末時点での市民主体で維持管理に取り組む公園箇所数 483公園	27年度末時点での市民主体で維持管理に取り組む公園箇所数 490公園	28年度末時点での市民主体で維持管理に取り組む公園箇所数 498公園	29年度末時点での市民主体で維持管理に取り組む公園箇所数 493公園	
数値目標	26年度	27年度	28年度	29年度		
	増加公園数	見込 5 実績 11	3 7	17 8		15 ▲5
実績	29年度	<ul style="list-style-type: none"> 公園愛護委員全体での総会を開催した。 校区交流会を38校区にて開催し、愛護委員同士の交流を実施した。 愛護活動に対する資材提供、貸し出し等の支援を行い、地元主体の維持管理ができるように指導を実施した。 平成29年度において、市民主体で維持管理に取り組む公園数は9公園増加したが、公園愛護活動者の高齢化や若年層の参加停滞による参加者数減少などで14公園が減となった。 				
単年度の 効果額見込 及び実績	26年度	27年度	28年度	29年度		
	見込 0.2 百万円 実績 0.4 百万円	0.2 百万円 0.3 百万円	1.1 百万円 0.8 百万円	1.8 百万円 0 百万円		
評価 29年度	課題	地域社会を取り巻く環境が大きく変化し、地域ボランティアである公園愛護活動者の高齢化や若年層の参加停滞による参加者数の減少が課題となっていることから、現行の愛護会制度の見直しを実施する必要がある。				
	改善策	幅広い運営主体に対し公園愛護活動への参加を啓発するとともに、新たに持続可能な愛護会制度の仕組みを検討する。				
評価基準	A:目標を上回って達成 B:目標を概ね達成 C:未達成					
備考						